

決算説明会

2009年3月期 第2四半期



高千穂電気株式会社

東京証券取引所 市場1部

CODE:2715

2008.11.11



<http://www.takachiho.co.jp>

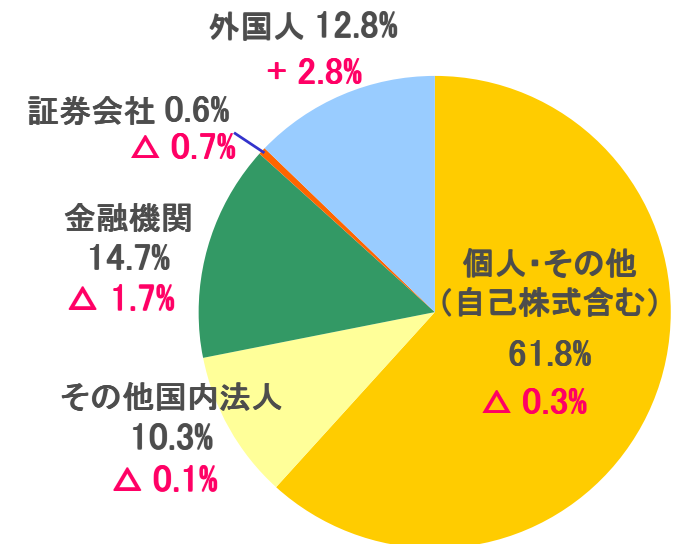
会社概要

商号	高千穂電気株式会社（英訳名 TAKACHIHO ELECTRIC CO.,LTD.）
設立	昭和22年4月（創業 昭和 20年11月）
上市場	東証1部 平成17年3月（東証2部：平成15年12月、JASDAQ：平成14年6月）
所在地	東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館25階
代表者	代表取締役社長（CEO） <small>さくらい さとし</small> 櫻井 憲
事業内容	独立系エレクトロニクス専門商社
従業員	【連結】932名 【単体】303名
営業拠点	【国内販売拠点20ヶ所】本社・17支店・2営業所 【海外販売拠点23ヶ所】 中国 11拠点、その他アジア 8拠点、 米国 1拠点、欧州 3拠点
資本金	2,142百万円
発行済株式数	18,835千株：1単元100株
株主数	6,489名



本社

所有者分布状況



赤字は、08/3末比の数字

※上記の各データは2008年9月末現在。

高千穂電気 グループ概要

高千穂電気 株式会社

加工委託

物流委託

商 品

加工委託

◆ 国内子会社(2社)

	設立	資本金	出資比率
(株)高千穂技研	1979.4	10百万円	100%
タカチホエイブル(株)	1991.1	10百万円	100%

◆ 海外販売会社(12社)

TAKACHIHO SINGAPORE (PTE.),LTD.	1979.9	300千シンガポール\$	100%
高千穂香港有限公司	1994.5	100千香港\$	100%
台湾高千穂股份有限公司	2000.9	3,000千台湾\$	100%
高千穂(上海)国際貿易有限公司	2001.7	5,794千人民元	100%
高千穂貿易(大連保稅区)有限公司	2002.4	1,655千人民元	100%
TAKACHIHO ELECTRIC(THAILAND)CO.,LTD.	2002.4	10,000千Bht	100%
高千穂国際貿易(深圳)有限公司	2002.8	2,121千人民元	100%
TAKACHIHO PHILIPPINES, INC.	2004.1	10,000千フィリピン\$	100%
TAKACHIHO KOREA CO.,LTD.	2004.3	490,000千韓国ウォン	100%
高千穂(天津)国際貿易有限公司	2005.4	1,735千人民元	100%
Takachiho USA, Inc.	2006.8	450千US\$	100%
TAKACHIHO CZECH, s.r.o	2006.11	9,000千チェココルナ	100%

◆ 海外加工会社(4社)

高輪科技有限公司	2001.5	12,850千香港\$	48%
蘇州高輪電子科技有限公司	2002.3	19,037千人民元	48%
大連高千穂電子有限公司	2003.8	24,606千人民元	100%
無錫高千穂燦科技有限公司	2005.7	34,620千人民元	60%

(2008年9月30日現在)



MOVE!

決算報告

2009年3月期 第2四半期累計期間



連結業績サマリー

単位: 百万円	07/3期 第2四半期累計期間	08/3期 第2四半期累計期間	09/3期 第2四半期累計期間	増減 (08/3 vs. 09/3)
売上高	46,184	51,945	50,211	△ 1,733
売上総利益	4,949	5,618	5,322	△ 296
売上総利益率	10.7%	10.8%	10.6%	△ 0.2p
販売管理費	3,156	3,574	3,494	△ 80
販管費比率	6.8%	6.9%	7.0%	+ 0.1p
営業利益	1,792	2,044	1,828	△ 215
営業利益率	3.9%	3.9%	3.6%	△ 0.3p
経常利益	1,957	2,038	1,908	△ 129
経常利益率	4.2%	3.9%	3.8%	△ 0.1p
四半期純利益	1,230	1,324	1,131	△ 193
四半期純利益率	2.7%	2.5%	2.3%	△ 0.2p
連結EPS	65 ^円 53 ^銭	70 ^円 37 ^銭	61 ^円 62 ^銭	
1株当たり中間配当金	10 ^円 00 ^銭	20 ^円 00 ^銭	20 ^円 00 ^銭	

連結業績のポイント

○ 連結売上高

- ① 携帯電話向け配線材料、中国を中心とした海外での絶縁材料が減少した一方、自動車向け電子部品及びTV用部材(機構部品)等が増加。
- ② 円高の進行による為替の影響は受けたものの、海外売上高は前年同期比で増加。
※ 08/3期 上半期平均：1ドル=119円 35銭 ⇒ 09/3期 上半期平均：1ドル=106円 12銭 (東京市場 終値平均)

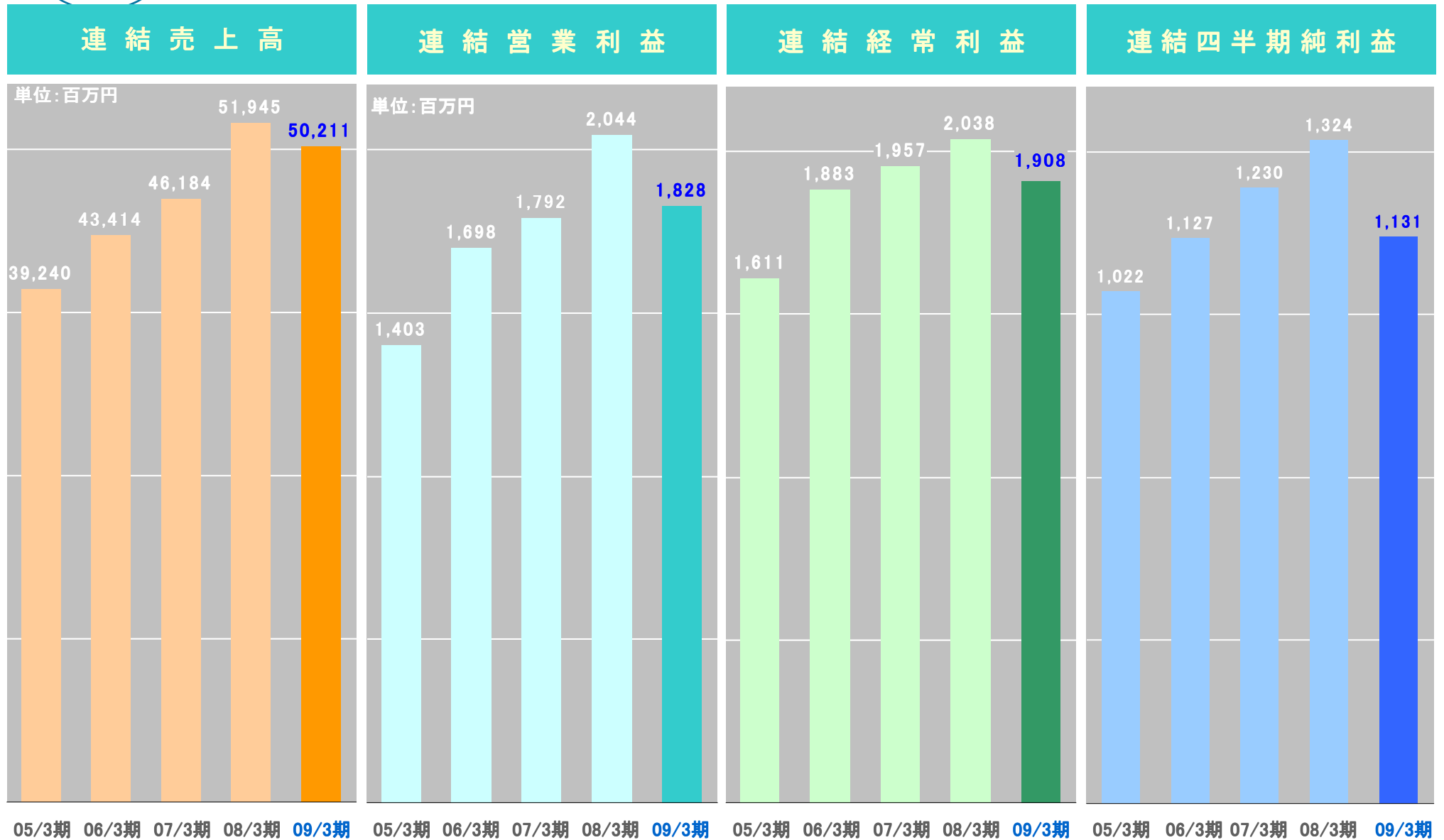
○ 営業利益・経常利益

- ① 相対的に利益率の高い絶縁材料の売上高が減少し、粗利率も低下したため全体の売上総利益・利益率が低下。
- ② 販管費の抑制に努め、販管費額は前年同期比で減少したが、売上総利益の低下をカバーするところまでは至らず、営業利益は前年同期比で減少。
- ③ 前年同期に比べ、為替変動は緩やかだったこと及び為替変動による影響緩和策を施したため、為替差損は縮小。経常利益は前年同期比で減少となったが、経常利益率はほぼ前年並みを確保。

○ 四半期純利益・配当

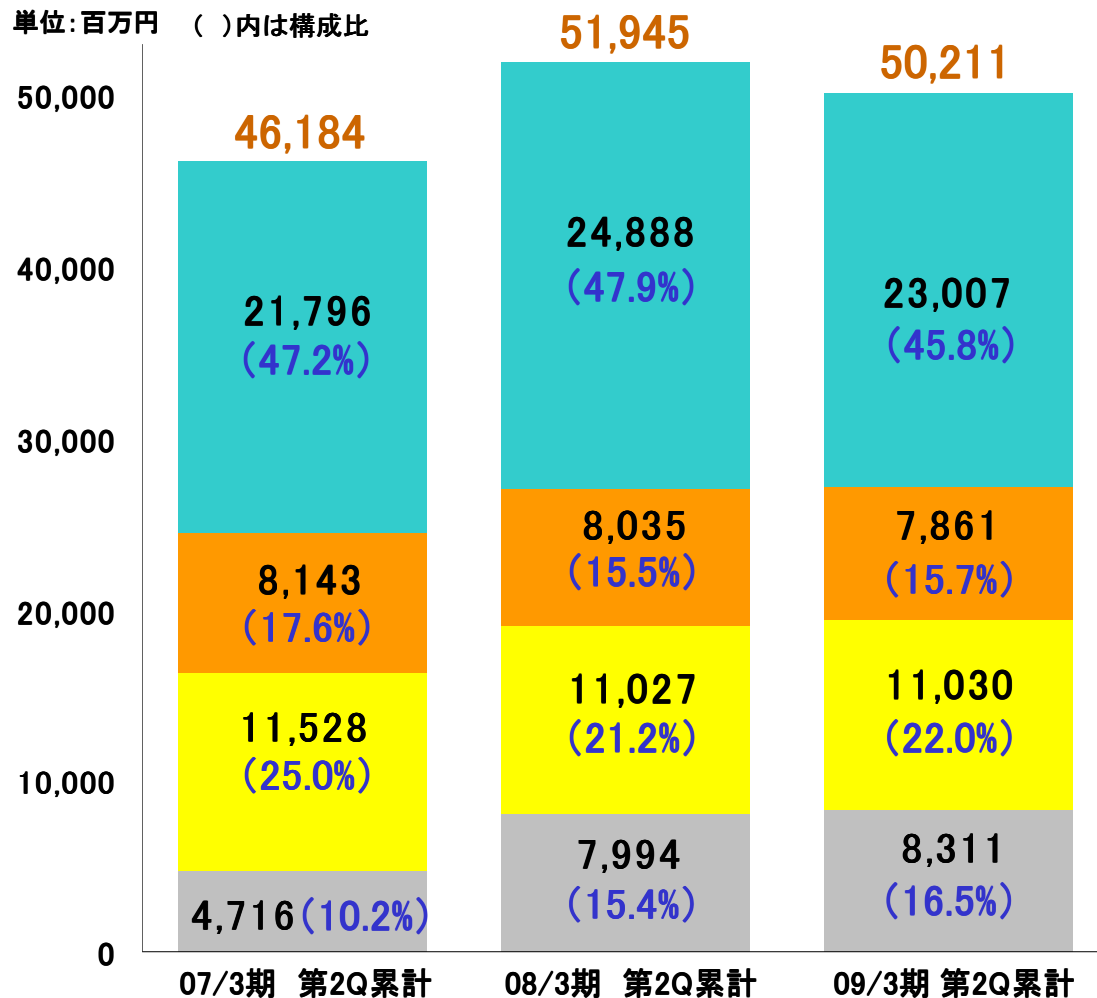
- ① 第2四半期末の1株当たり配当金は、予定通り20円を実施。

【 連 結 】 第2四半期累計期間 業績の推移



【連結】品目別売上高

近年の業績を牽引してきた、中国を中心とした海外向け絶縁材料、FPCなどの配線材料の売上高が減少。一方、減少を続けていた「オプティカル部品・材料」が微増となる。また、「その他(機構部品)」は、携帯電話用成形品が減少した一方、TV向け機構部品などが大幅増加。



◆ 電気材料 前年同期比 Δ 1,881百万円

中国など海外向け絶縁材料、携帯電話向け配線材料が減少。

- ・絶縁材料 Δ 396百万円
- ・配線材料 Δ 1,490百万円
- ・半導体関連 + 6百万円

◆ 電子部品 前年同期比 Δ 173百万円

自動車向け等の各種センサー部品は好調に推移。
電気部品は、自動車向け部品は増加したが、コネクタ等が減少。

- ・センサー部品 + 278百万円
- ・電気部品 Δ 451百万円

◆ オプティカル部品・材料 前年同期比 + 3百万円

レンズフィルムは小型が増加したのに対し、大型が減少。
バックライトは、大型・小型ともに増加。

- ・ディスプレイ部品・材料 + 160百万円
- ・光学部品・材料 Δ 226百万円
- ・光通信部品・材料 + 69百万円

◆ その他 前年同期比 + 317百万円

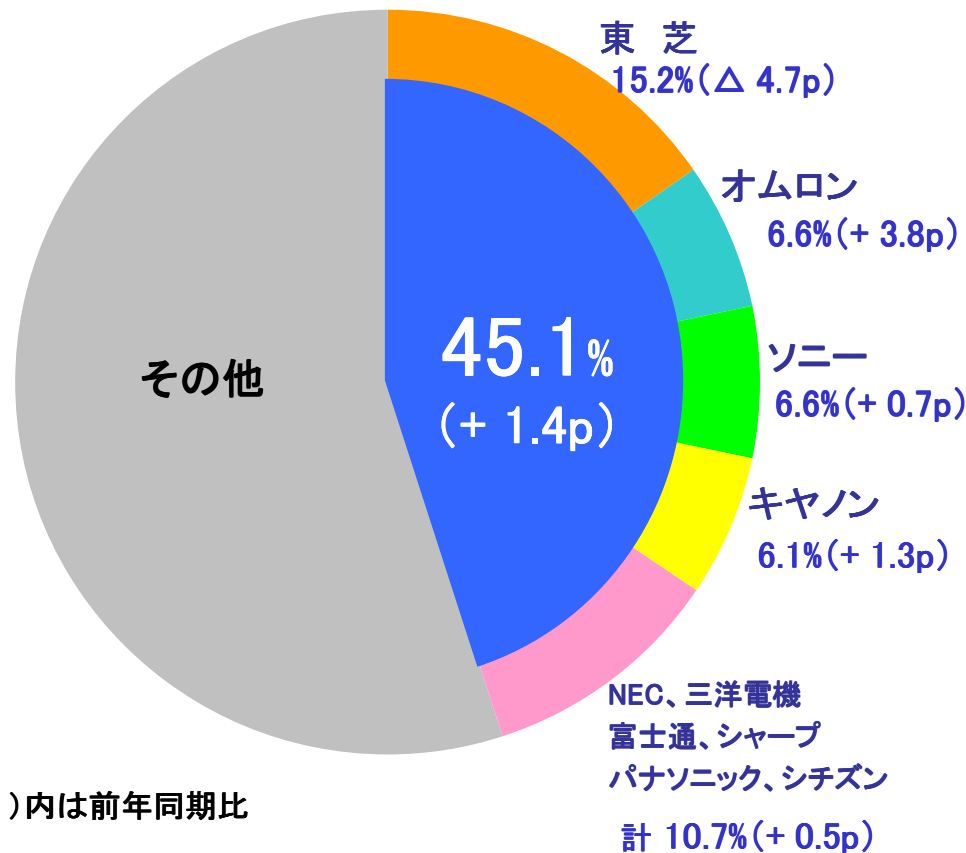
TV向け機構部品等の増加により、前年同期比で増加

【連結】主要顧客別売上高

上位10社向け売上構成比は、前年同期比とほぼ同水準。

「オムロン・ソニー・キヤノン・シャープ・パナソニック」向けが、売上高・構成比ともに前年同期比で大きく増加した一方、携帯電話用部材を中心に増加を続けていた「東芝」向けが減少。

主要顧客企業(上位10社)グループへの
売上構成比率とその内訳



主要顧客企業(上位10社)グループへの
売上高の推移

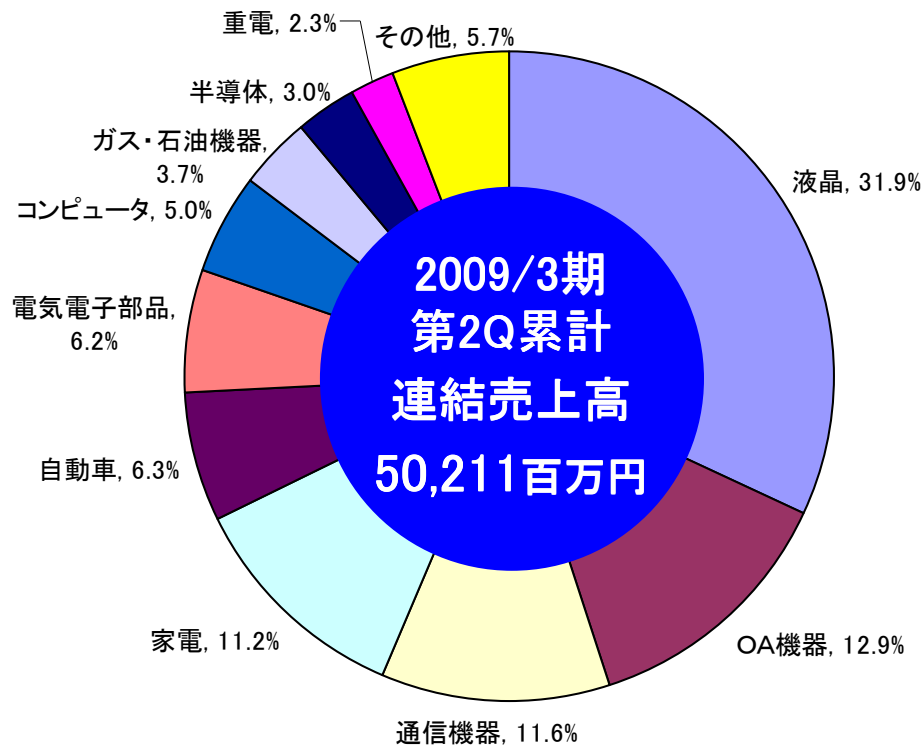
単位:百万円	07/3期 2Q累計		08/3期 2Q累計		09/3期 2Q累計
東芝	9,359	↗	10,350	↘	7,623
オムロン	657	↗	1,463	↗	3,322
ソニー	3,318	↘	3,071	↗	3,296
キヤノン	1,953	↗	2,514	↗	3,054
日本電気	1,728	↘	1,357	↘	1,205
三洋電機	578	↗	1,661	↘	1,171
富士通	904	↗	1,172	↘	962
シャープ	34	↗	54	↗	799
パナソニック	434	↘	407	↗	608
シチズン	810	↘	630	↘	599

【 連結 】 販売先業種別売上高

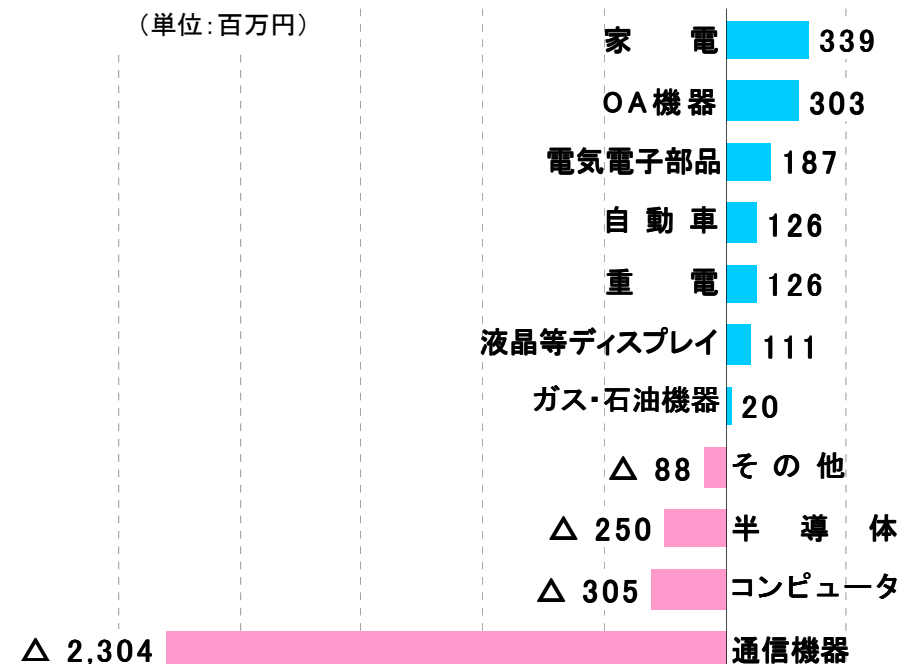
携帯電話の上半期の国内出荷台数低下を受け、「通信機器」向けが大幅減少。
一方、プリンタを中心とした「OA機器」向け、デジタル家電を中心とした「家電」向けは、引き続き好調に推移。
また、現在取り組みを強化している「自動車」向けも、前年同期比で大きく増加。

販売先業種	液晶等ディスプレイ	OA機器	通信機器	家電	自動車
売上高(百万円)	16,010	6,477	5,845	5,644	3,173
電気電子部品	コンピュータ	ガス・石油機器	半 導 体	重 電	そ の 他
3,128	2,522	1,868	1,513	1,176	2,852

販売先業種別 業種別構成比



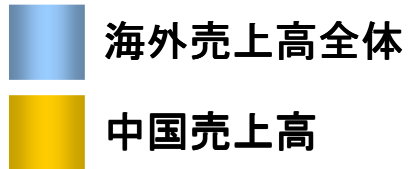
販売先業種別 前年同期比増減額



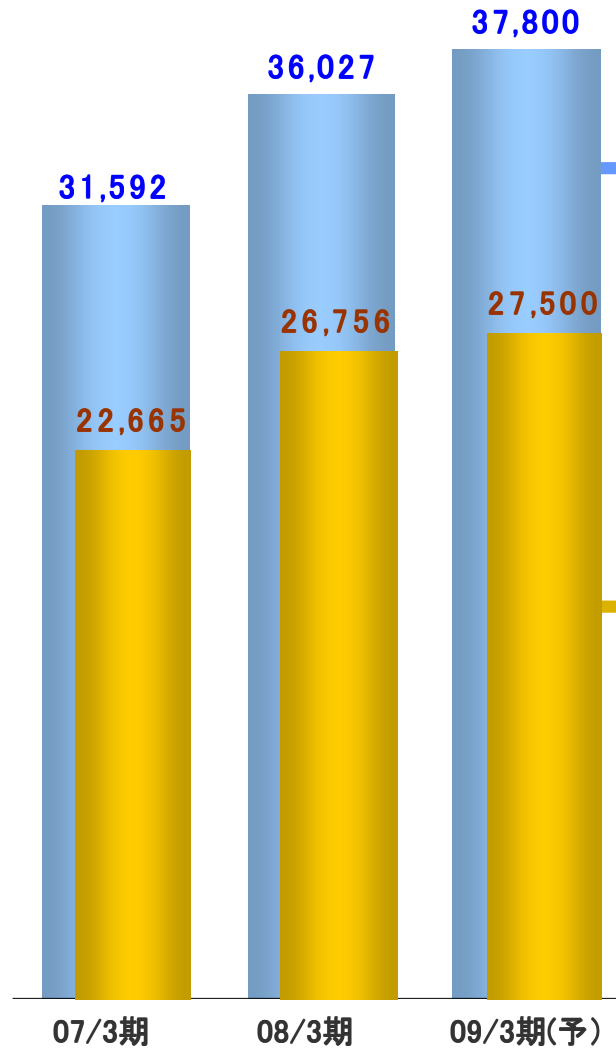
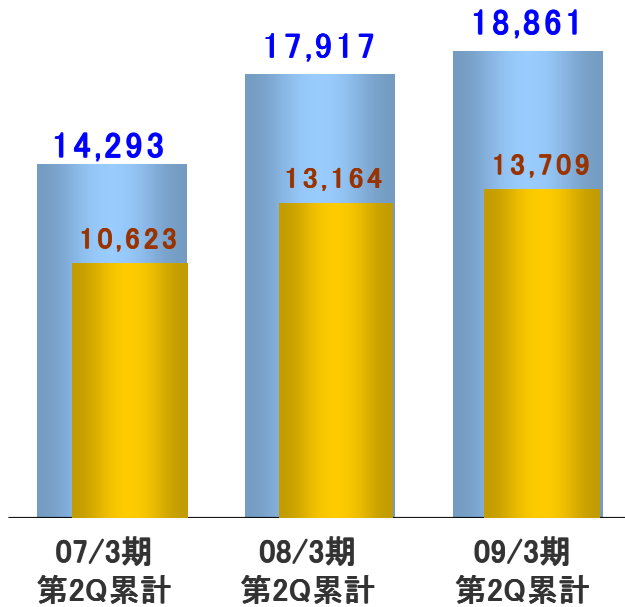
海外売上高推移

《中間期推移》

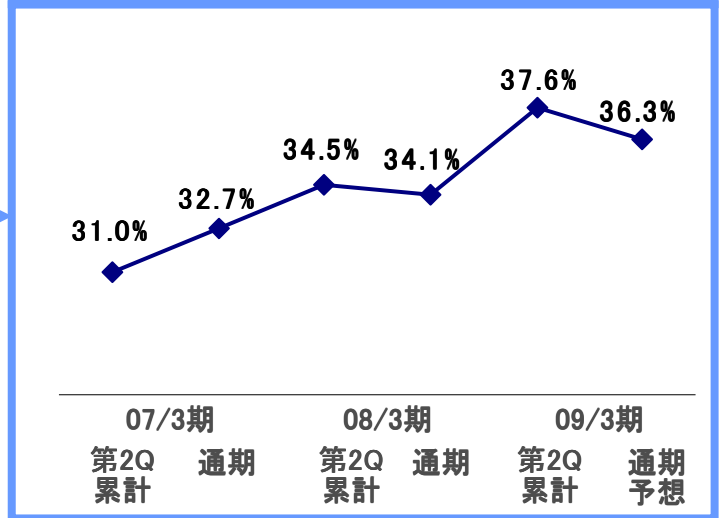
《通期推移》



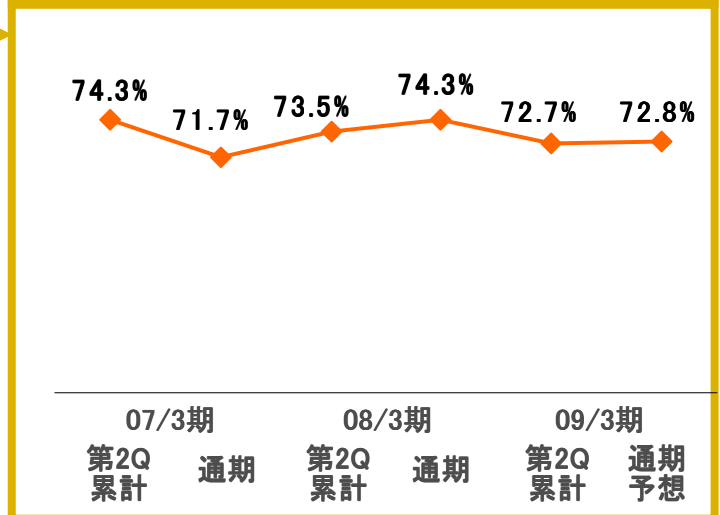
単位:百万円



連結売上高に占める海外売上高比率



海外売上高に占める中国売上高比率



【連結】販管費の状況

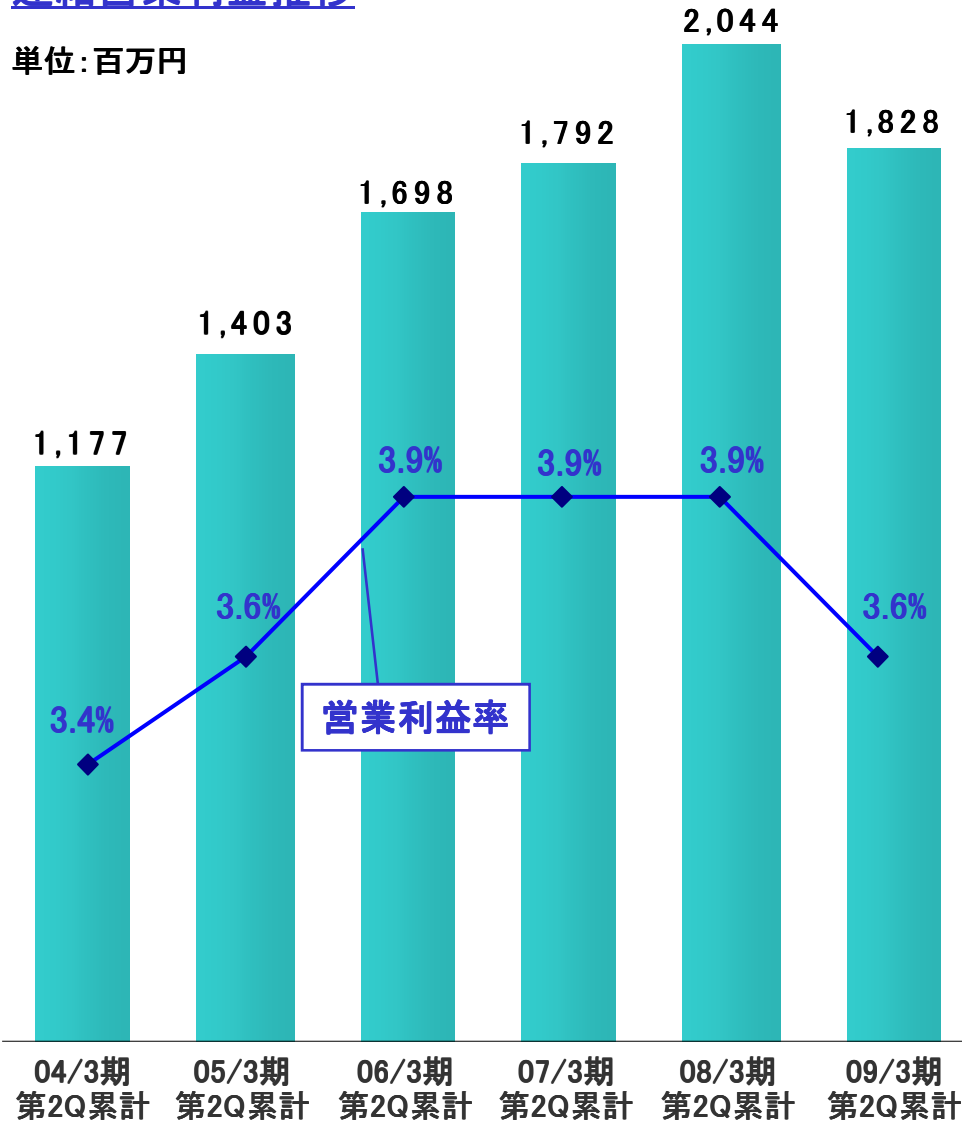
単位：百万円

	07/3期 第2Q累計	08/3期 第2Q累計	09/3期 第2Q累計	
販管費	3,156	3,574	3,494 前年同期比 △80	売上高販管費比率 推移 07/3期 第2Q累計 6.84% ⇒ 08/3期 第2Q累計 6.88% ⇒ 09/3期 第2Q累計 6.96%
人件費	1,624	1,908	1,764 前年同期比 △144	対売上高比率 0.16ポイント減少 前年同期末と比較し、連結従業員数は46名減少（単体は20名増）。業績連動賞与引当の減少。
荷造運賃	393	401	404 前年同期比 +3	対売上高比率 0.03ポイント上昇 海外売上高比率が増加したことにより微増。
その他	1,139	1,264	1,325 前年同期比 +60	対売上高比率 0.20ポイント上昇 採用経費・旅費交通費などの諸経費が増加。

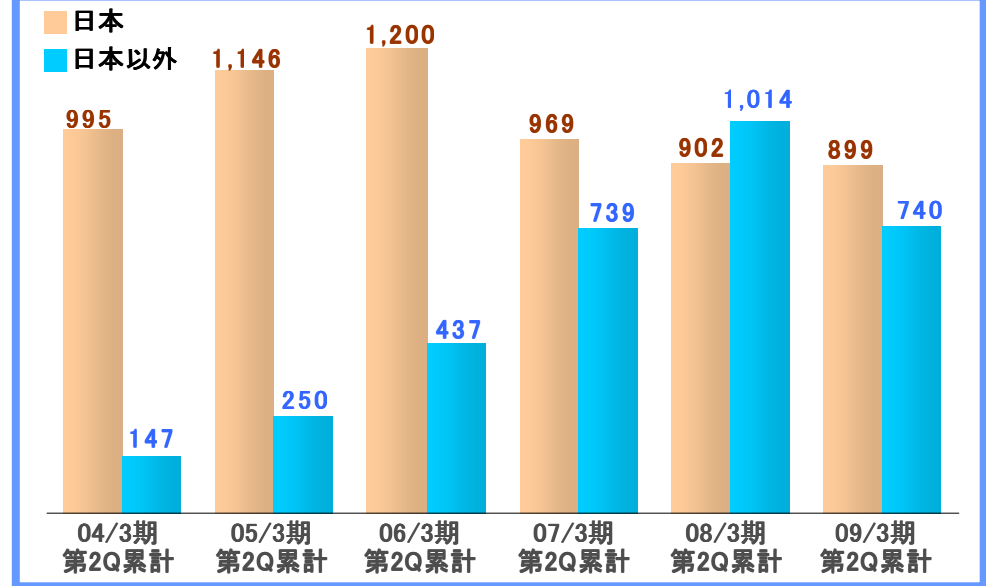
連結営業利益および営業利益率

連結営業利益推移

単位:百万円

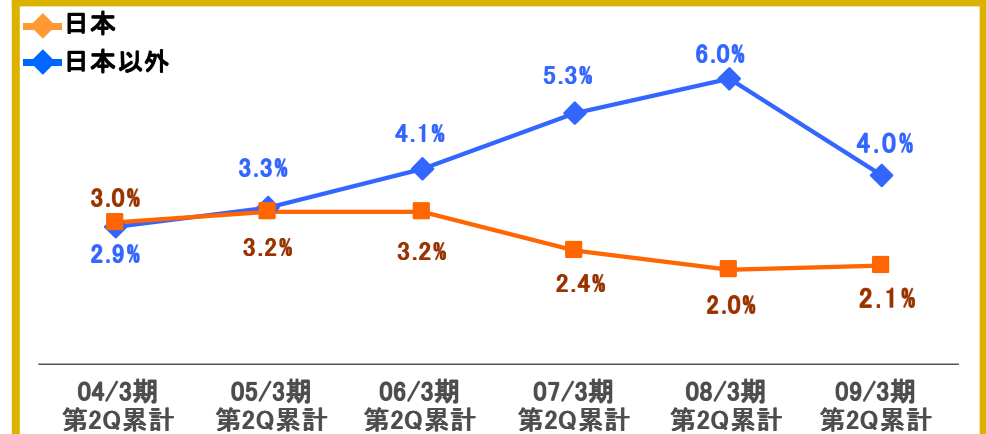


所在地別セグメント営業利益 推移



※上図は、『消去又は全社』前の数値であり、合計値と連結営業利益は一致しません。

所在地別セグメント営業利益率 推移



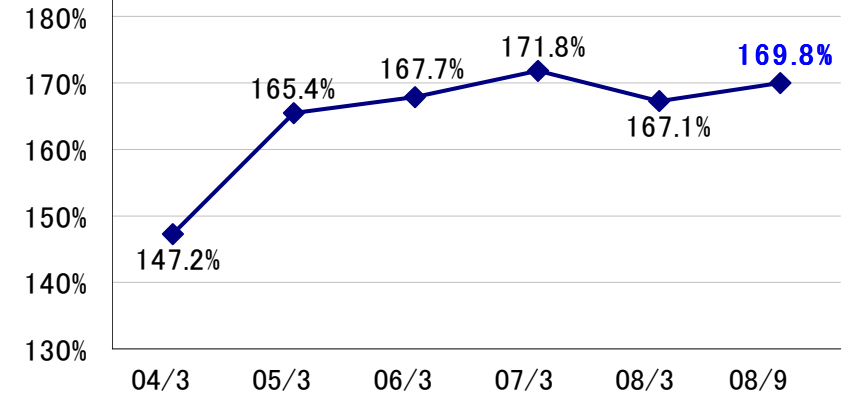
連結比較貸借対照表(資産の部)

(単位:百万円)	08/3末		08/9末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	41,872	85.0%	43,624	86.7%	1,751
現預金	5,941	12.1%	9,025	17.9%	3,083
受取手形・売掛金	31,811	64.6%	30,398	60.4%	△1,413
たな卸資産	3,092	6.3%	3,493	6.9%	400
繰延税金資産	196	0.4%	176	0.4%	△20
その他	829	1.7%	530	1.1%	△299
固定資産	7,376	15.0%	6,684	13.3%	△692
有形固定資産 (減価償却累計額)	3,090 (1,859)	6.3%	3,266 (1,975)	6.5%	176
無形固定資産	161	0.3%	152	0.3%	△9
投資その他の資産	4,125	8.4%	3,266	6.5%	△859
投資有価証券	2,387	4.8%	1,454	2.9%	△933
その他	1,737	3.5%	1,811	3.6%	74
総資産	49,249	100%	50,309	100%	1,059

流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債

引き続き適正水準を維持

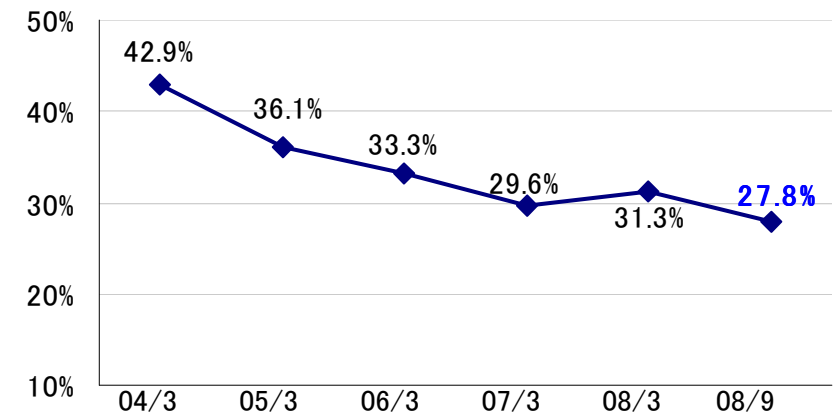
売上債権は、大手エレクトロニクス・メーカー向けが中心
在庫回転期間は0.40ヶ月であり、引き続き滞留在庫はなし。



固定比率 = 固定資産 ÷ 自己資本

財務の健全性がさらに高まる

不必要な資産を有しないことにより、財務の健全性を実現



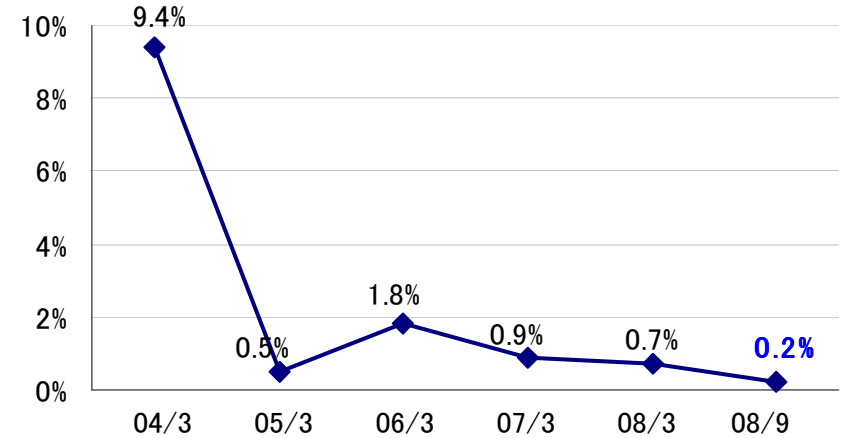
連結比較貸借対照表(負債・純資産の部)

(単位:百万円)	08/3末		08/9末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
負債合計	25,416	51.6%	26,057	51.8%	640
流動負債	25,064	50.9%	25,699	51.1%	634
支払手形・買掛金	23,535	47.8%	24,045	47.8%	510
短期借入金	154	0.3%	51	0.1%	△102
その他	1,374	2.8%	1,602	3.2%	227
固定負債	352	0.7%	358	0.7%	5
純資産	23,833	48.4%	24,252	48.2%	419
株主資本	24,038	48.9%	24,388	48.5%	349
資本金	2,142	4.4%	2,142	4.3%	-
資本剰余金	2,018	4.1%	2,018	4.0%	-
利益剰余金	20,218	41.1%	20,961	41.7%	742
自己株式	△ 340	△ 0.7%	△ 733	△ 1.5%	△ 392
評価換算差額等	△ 468	△ 1.0%	△ 380	△ 0.8%	88
少数株主持分	263	0.5%	244	0.5%	△ 19
負債純資産合計	49,249	100%	50,309	100%	1,059

有利子比率 = 有利子負債 ÷ 自己資本

実質、無借金経営を継続

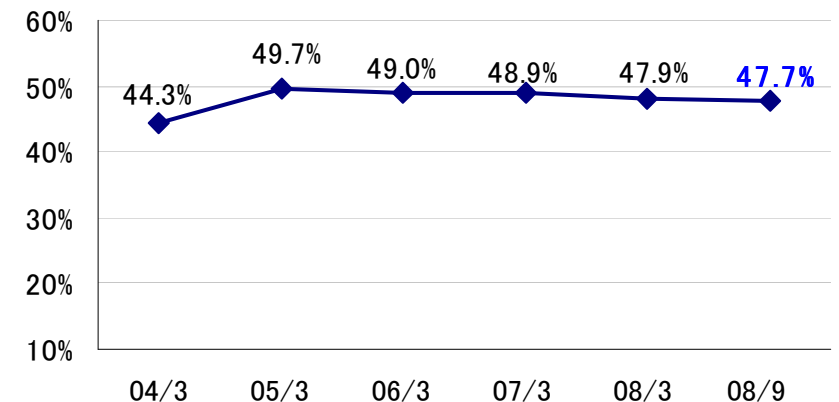
08/9末での有利子負債残高は、短期借入金51百万円のみ



自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

引き続き高水準を維持

自己株の市場買付を実施しつつ、依然として高水準を維持



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	08/3期 2Q累計	08/3期 通期	09/3期 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,497	3,994	3,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 260	△ 1,346	489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 465	△ 1,218	△ 885
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	△ 285	△ 49
現金及び現金同等物の増減額	1,837	1,143	3,074
現金及び現金同等物の期末残高	6,377	5,684	8,759

営業CFの内訳

(単位:百万円)	08/3期 2Q累計	08/3期 通期	09/3期 2Q累計
税前中間(当期)純利益	2,038	3,689	1,761
減価償却費	154	320	153
売上債権の増減額	△ 2,797	△ 1,376	1,406
たな卸資産の増減額	7	209	△ 392
仕入債務の増加額	2,996	2,522	494
その他	617	△ 203	412
小計	3,015	5,161	3,835
利息・配当金受払	47	120	61
法人税等支払	△ 565	△ 1,287	△ 377
営業CF計	2,497	3,994	3,519

○営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権が減少・仕入債務が増加(営業CF:+)。

○投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得(投資CF:△)、投資有価証券の売却及び償還(投資CF:+)。

○財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いによる支出(財務CF:△)及び自己株式の取得(財務CF:△)。



2009年3月期 通期業績予想



2009年3月期 連結業績予想

単位:百万円	07/3期	08/3期	09/3期	増減(08/3 vs. 09/3)	
				増減額	増減率
売上高	96,513	105,724	104,000	△ 1,724	△ 1.6%
国内売上高	64,921	69,696	66,200	△ 3,496	△ 5.0%
海外売上高	31,592	36,027	37,800	+ 1,772	+ 4.9%
営業利益	3,660	4,175	4,000	△ 175	△ 4.2%
営業利益率	3.8%	3.9%	3.8%	- 0.1 p	—
経常利益	4,017	3,689	4,150	+ 460	+ 12.5%
経常利益率	4.2%	3.5%	4.0%	+ 0.5 p	—
当期純利益	2,632	2,510	2,600	+ 89	+ 3.6%
当期純利益率	2.7%	2.4%	2.5%	+ 0.1 p	—

連結EPS	140 円 17 銭	133 円 47 銭	142 円 58 銭	+ 9 円 11 銭
1株当たり年間配当金	36 円 00 銭	41 円 00 銭	43 円 00 銭	+ 2 円 00 銭
連結ROE	12.1%	10.8%	10.6%	△ 0.2p

連結業績予想のポイント

○通期予想

- ① 携帯電話向け配線材料等の落ち込みを、TV用部材、自動車向けセンサー及びスマートフォン・デジタルオーディオプレイヤー向けのオプティカル部品・材料等の拡販でカバーするが、売上高・営業利益は、前期比微減を予想。
- ② 円高の進行により、円換算時の減少があるものの、海外売上高は上期並みに推移。通期では増加を見込む。

	08/3期	09/3期(予)	
※海外売上高:	36,027百万円	⇒ 37,800百万円	…… 前期比: + 1,772百万円
※海外売上構成比:	34.1%	⇒ 36.3%	…… 前期比: + 2.2ポイント

- ③ 経常利益は、営業外損益における為替差損が縮小傾向で推移すると、前期比大幅増。当期純利益は、前期比で微増の見込み。(下期想定為替レート「1ドル=100円」)

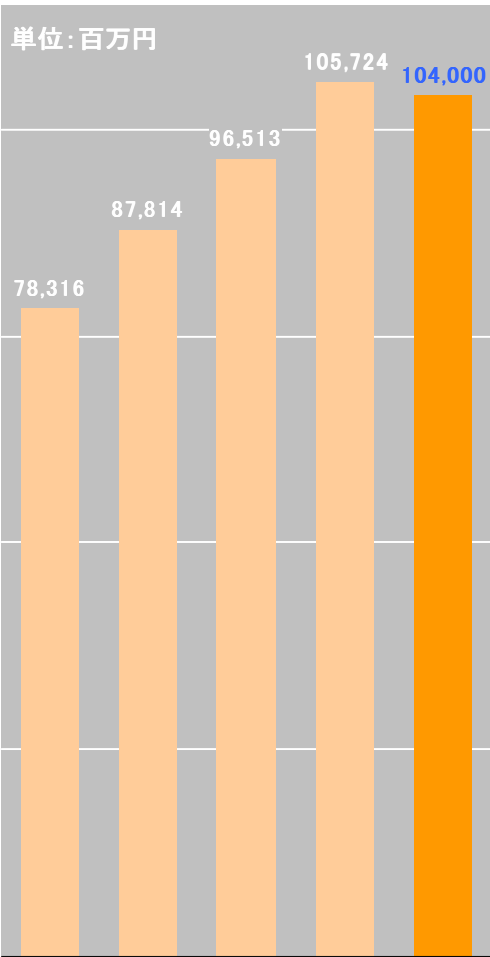
	08/3期	09/3期(予)	
※経常利益:	3,689百万円	⇒ 4,150百万円	…… 前期比: + 460百万円
経常利益率:	3.5%	⇒ 4.0%	…… 前期比: + 0.5ポイント
※当期純利益:	2,510百万円	⇒ 2,600百万円	…… 前期比: + 89百万円
当期純利益率:	2.4%	⇒ 2.5%	…… 前期比: + 0.1ポイント

- ④ 足元の受注状況は比較的堅調であるものの、10月の米国発金融危機以降の世界的な経済の減速に伴う今後の需要減については、現段階で織り込んでいない。

連結業績推移

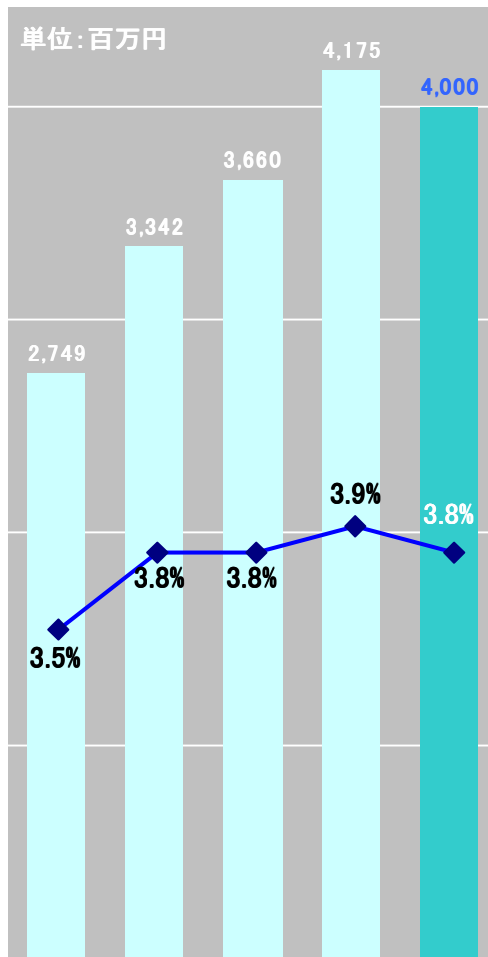
連結売上高は微減となるが、当期も前期に引き続き**1000億円**を突破する見込み。

連結売上高 推移



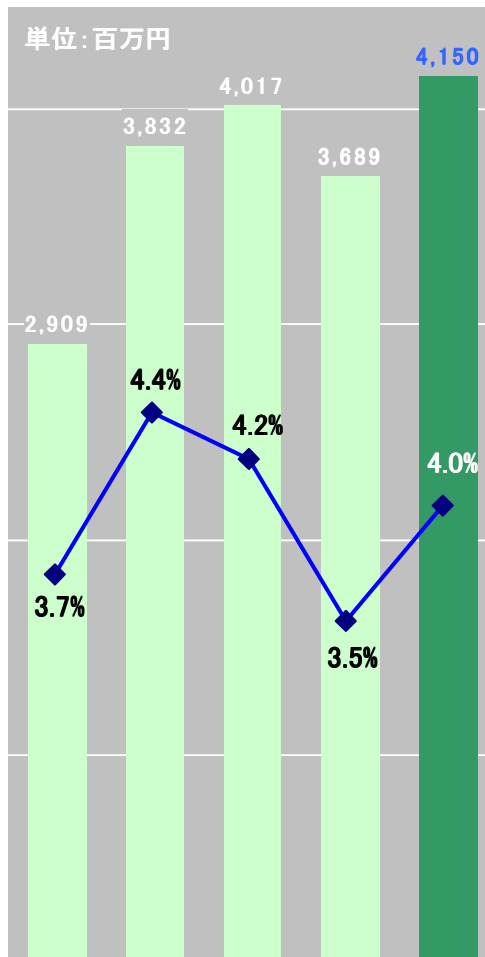
05/3期 06/3期 07/3期 08/3期 09/3期 予想

連結営業利益 推移



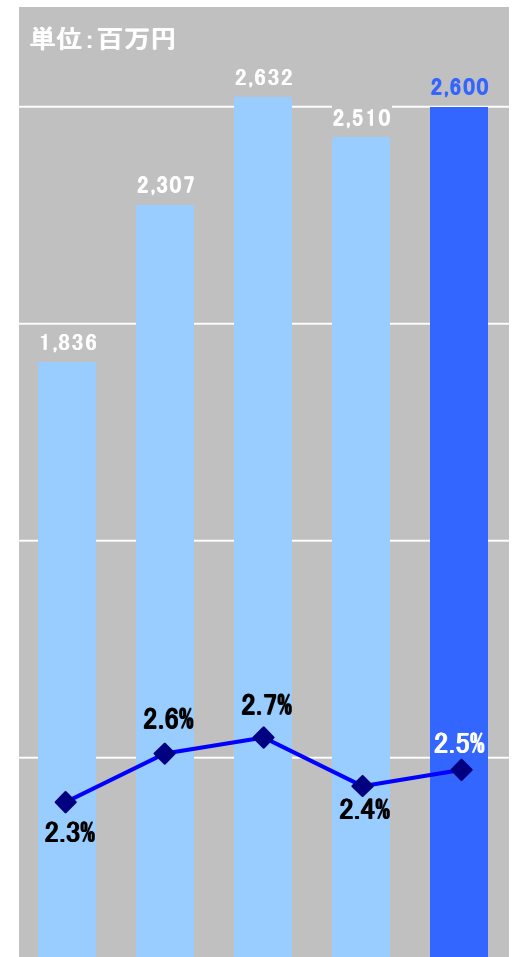
05/3期 06/3期 07/3期 08/3期 09/3期 予想

連結経常利益 推移



05/3期 06/3期 07/3期 08/3期 09/3期 予想

連結当期純利益 推移



05/3期 06/3期 07/3期 08/3期 09/3期 予想

連結業績予想詳細 国内・海外売上高

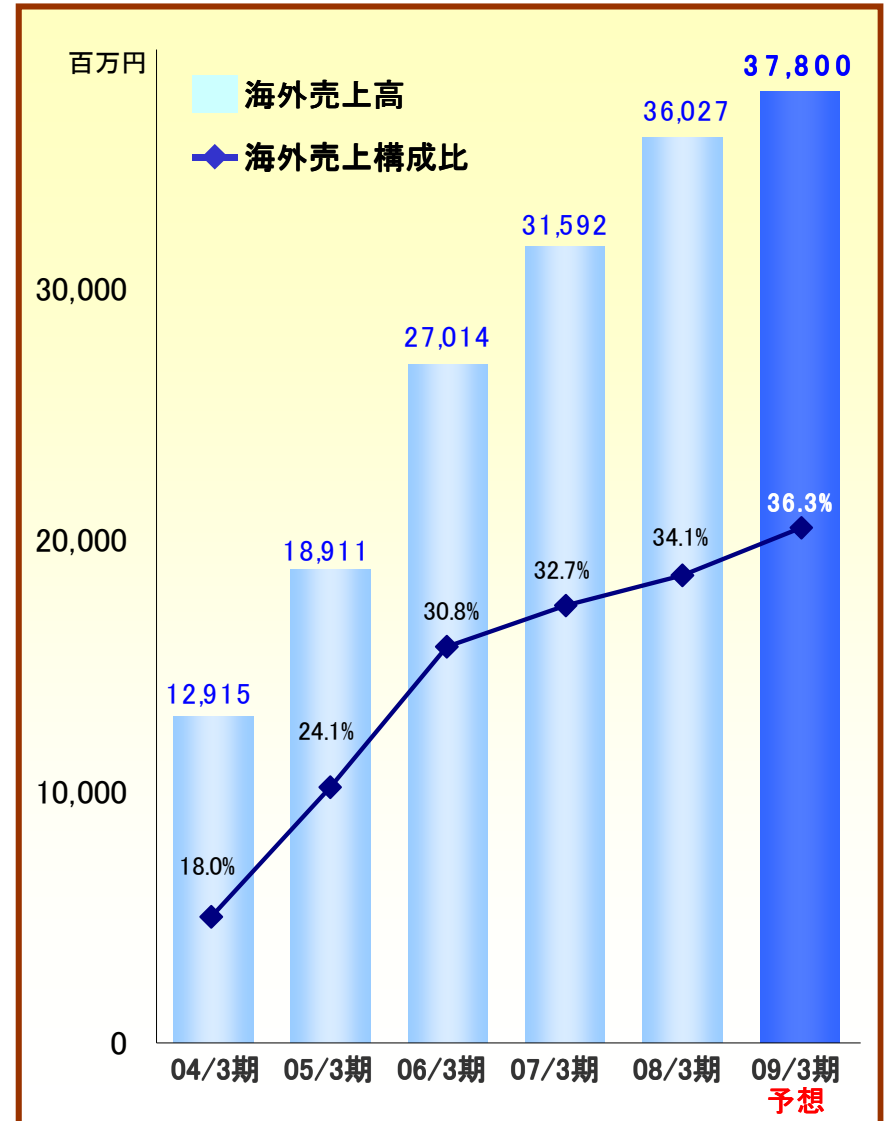
◆ 国内・海外 売上区分

単位:百万円	08/3期 実績		09/3期 予想		増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
国内売上高	69,696	65.9%	66,200	63.7%	△ 5.0%
海外売上高	36,027	34.1%	37,800	36.3%	+ 4.9%
中国(香港含む)	26,756	25.3%	27,500	26.4%	+ 2.8%
その他アジア	8,701	8.2%	9,000	8.7%	+ 3.4%
その他	570	0.5%	1,300	1.3%	+ 128.0%
連結売上高合計	105,724	100.0%	104,000	100.0%	△ 1.6%

◆ 海外売上高内 構成比

	08/3期 実績	09/3期 予想	増減率
中国(香港含む)	74.3%	72.8%	△ 1.5p
その他アジア	24.2%	23.8%	△ 0.4p
その他	1.6%	3.4%	+ 1.8p
海外売上高	100.0%	100.0%	—

海外売上高・売上構成比 推移



連結業績予想詳細 所在地別セグメント

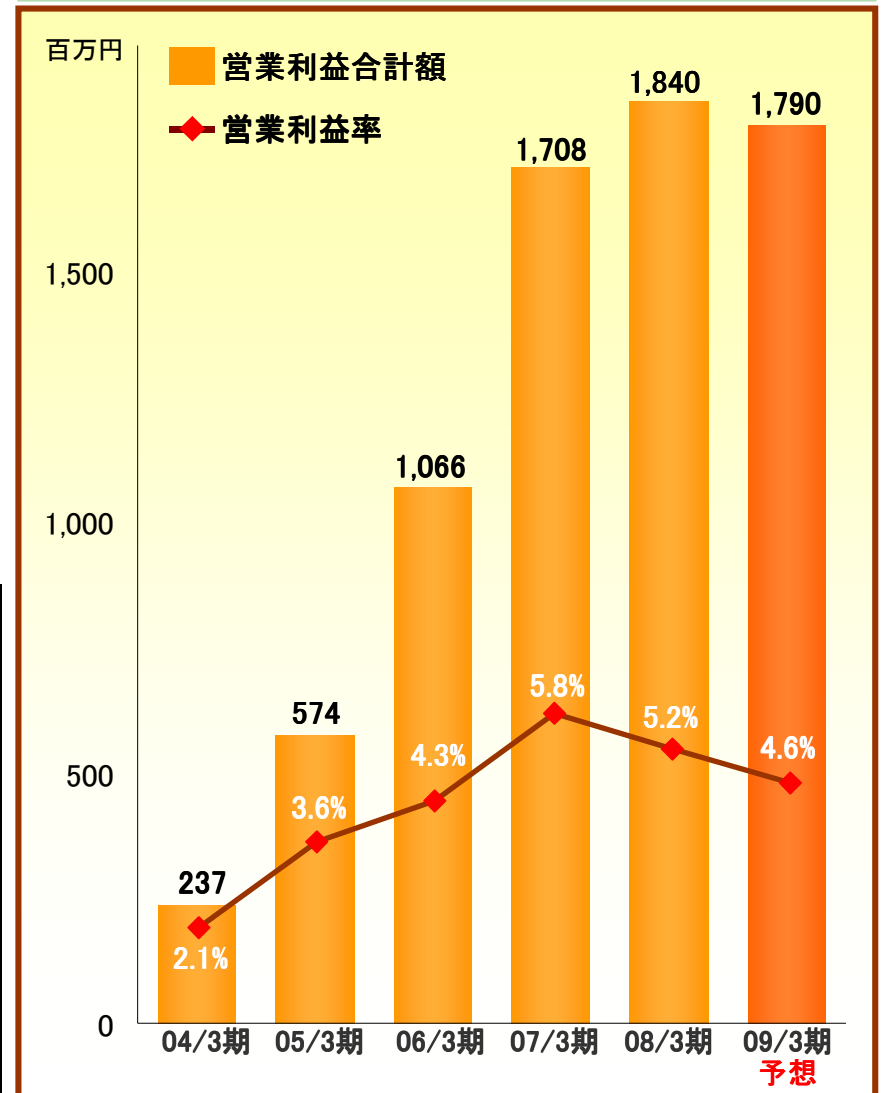
◆ 所在地別セグメント売上高

単位:百万円	08/3期 実績		09/3期 予想		増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	90,662	71.8%	89,000	70.2%	△ 1.8%
日本国外	35,663	28.2%	38,800	29.8%	+ 6.0%
中国(香港含む)	25,437	20.1%	27,500	21.7%	+ 8.1%
その他アジア	9,664	7.7%	10,000	7.9%	+ 3.5%
欧米	561	0.4%	1,300	1.0%	+ 131.5%
消去又は全社	△ 20,600	—	△ 23,800	—	—

◆ 所在地別セグメント営業利益

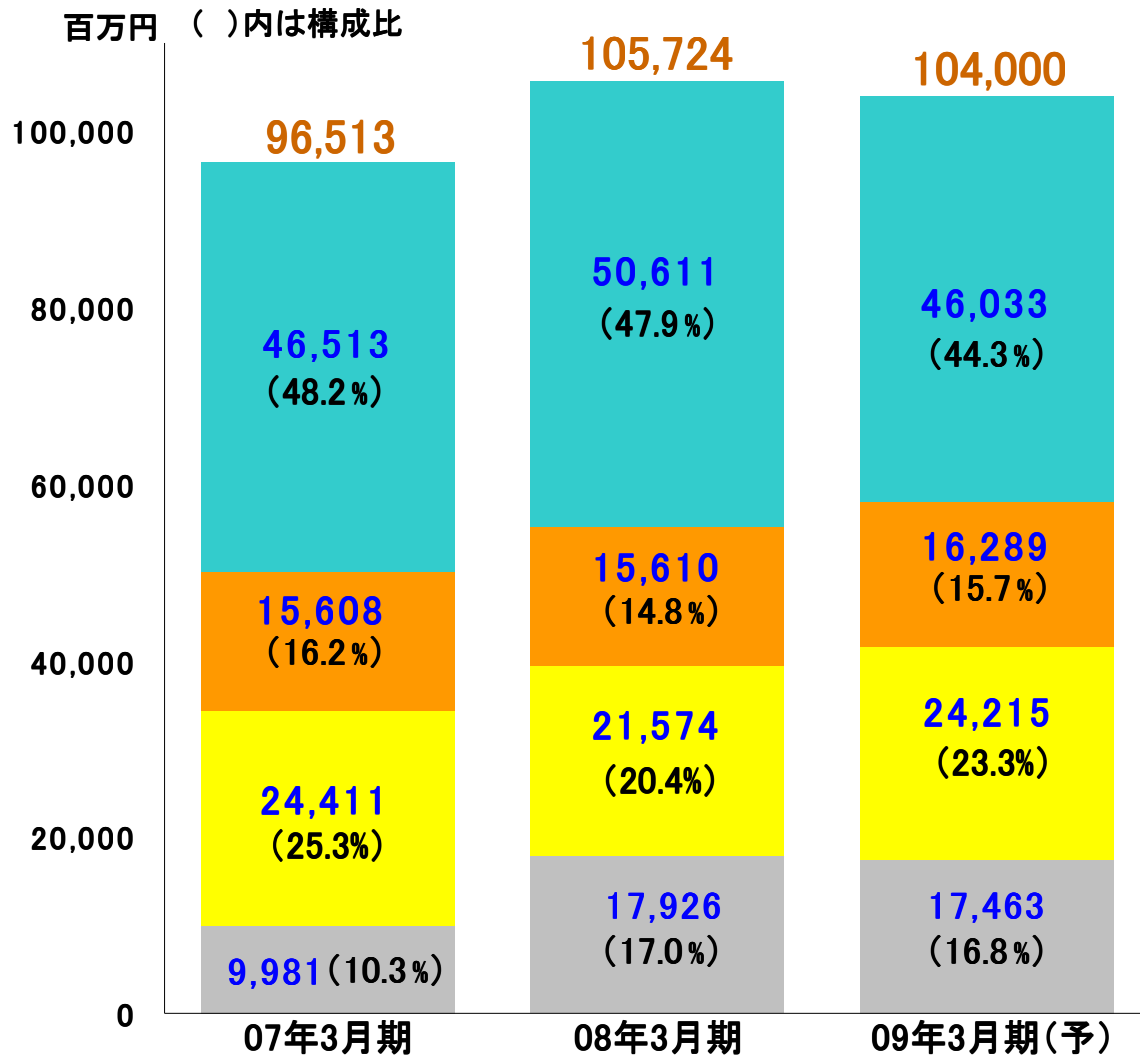
単位:百万円	08/3期 実績		09/3期 予想		増減率
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
日本	2,163	2.4%	1,850	2.1%	△ 14.5%
日本国外	1,840	5.2%	1,790	4.6%	△ 2.8%
中国(香港含む)	1,350	5.3%	1,300	4.7%	△ 3.8%
その他アジア	525	5.4%	500	5.0%	△ 4.8%
欧米	△ 35	—%	△ 10	△ 0.8%	—%
消去又は全社	172	—	360	—	—

国外(中国・その他アジア、欧米) 営業利益・利益率推移



連結業績予想詳細 品目別売上高情報

家電等向け絶縁材料は、通期では前期比横ばいであるが、携帯電話向け等の配線材料の大幅減により、「電気材料」全体では大幅に減少。一方、自動車向けの各種センサー部品の増加により「電子部品」が増加し、また、「オプティカル部品・材料」は、TV用部材等が増加。



◆ 電気材料 Δ 4,579百万円

海外向け絶縁材料は横ばい。国内向け配線材料が減少。

- ・絶縁材料 Δ 36百万円
- ・配線材料 Δ 4,185百万円
- ・半導体関連 Δ 356百万円

◆ 電子部品 + 678百万円

自動車向け等の各種センサー部品が増加する一方、コネクタ等の電気部品が減少。

- ・センサー部品 + 679百万円
- ・電気部品 Δ 1百万円

◆ オプティカル部品・材料 + 2,640百万円

PCモニター用レンズフィルムは引き続き減少。一方、TV用部材等が増加。

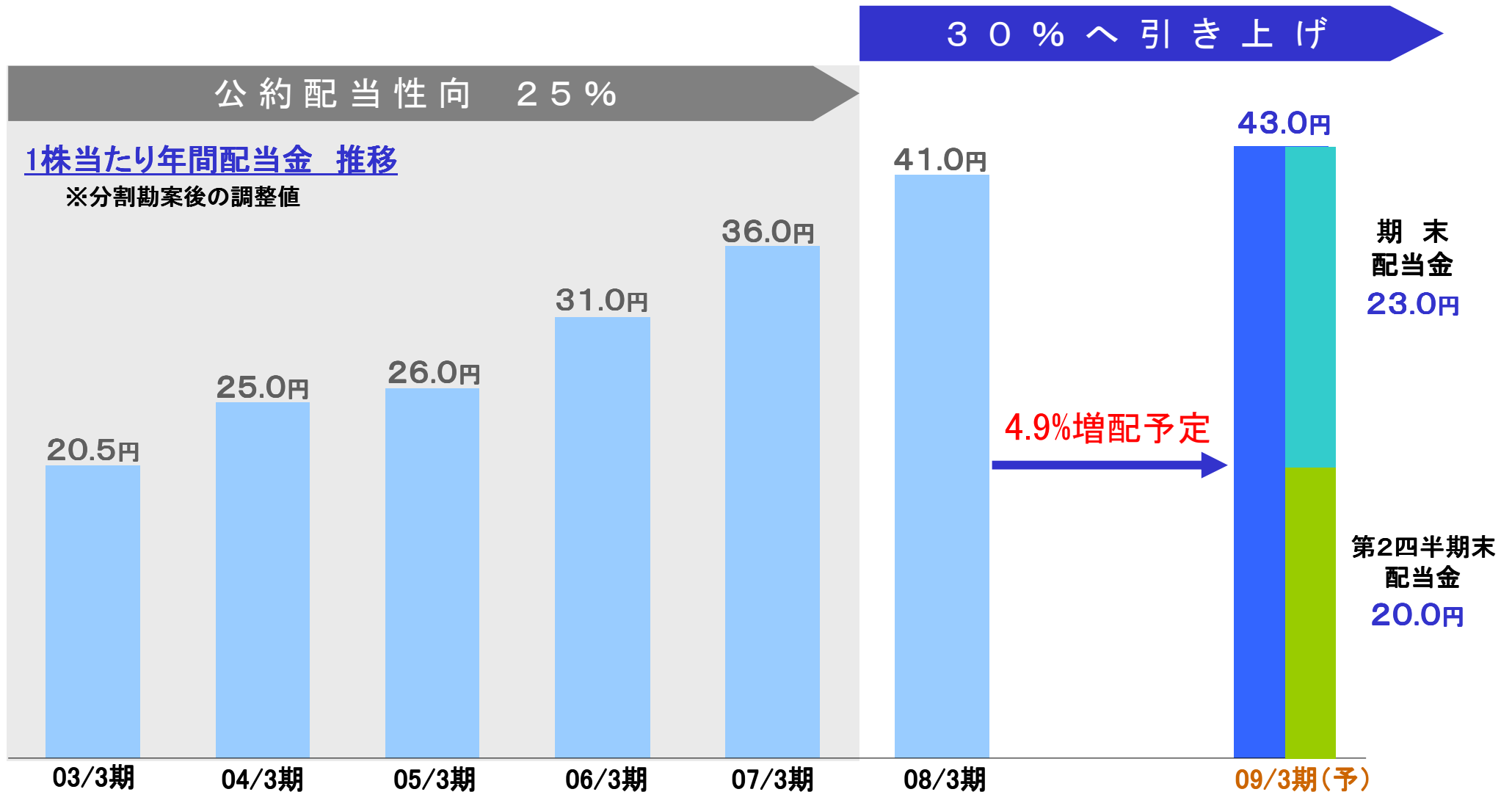
- ・ディスプレイ部品・材料 + 2,112百万円
- ・光学部品・材料 + 294百万円
- ・光通信部品・材料 + 234百万円

◆ その他 Δ 463百万円

TV向け機構部品は増加するが、前期下期に好調であった携帯電話用外装品・成形品が減少。

投資家の皆様へ — 公約配当性向 —

株主の皆様への利益還元策をより強化するため、平成19年度(2008年3月期)決算から従来の連結1株当たり当期純利益の25%から、**30%へと公約配当性向の引き上げを実施。**





今 後 の 戦 略



「ものづくりのより良きパートナー」を目指して

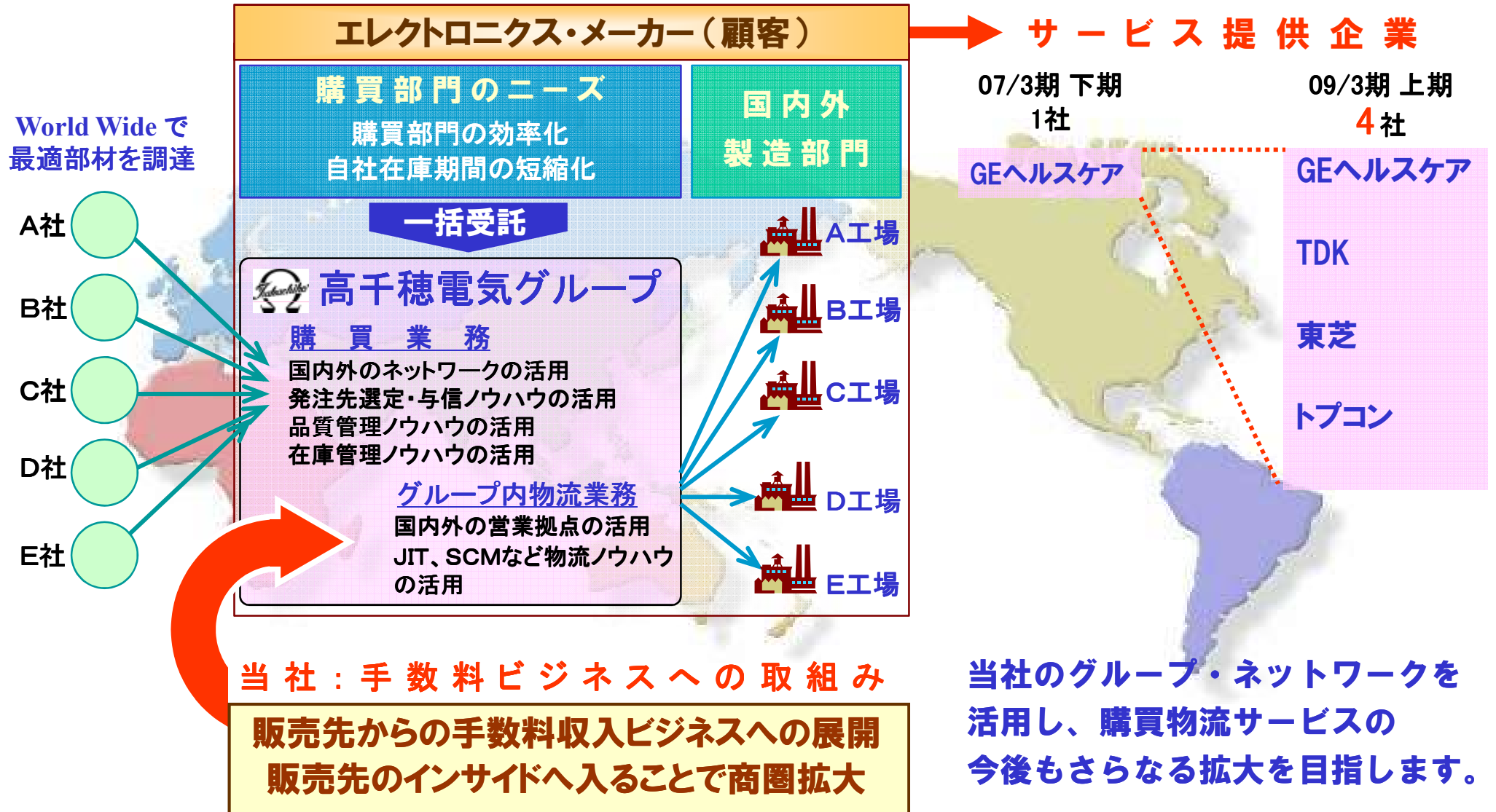
「ものづくりのパートナー企業」として、商社の「**ベーシック機能**」に加え、「**ロジスティクス機能**」「**メーカー機能**」など、顧客（エレクトロニクス・メーカー）の求めるサービスを提供。顧客ニーズに対して常に柔軟に対応するため、グループ・ネットワークの構築と、可能な限り不要な資産を持たない経営を推進。



※ JIT: Just in Time
 SCM: Supply Chain Management

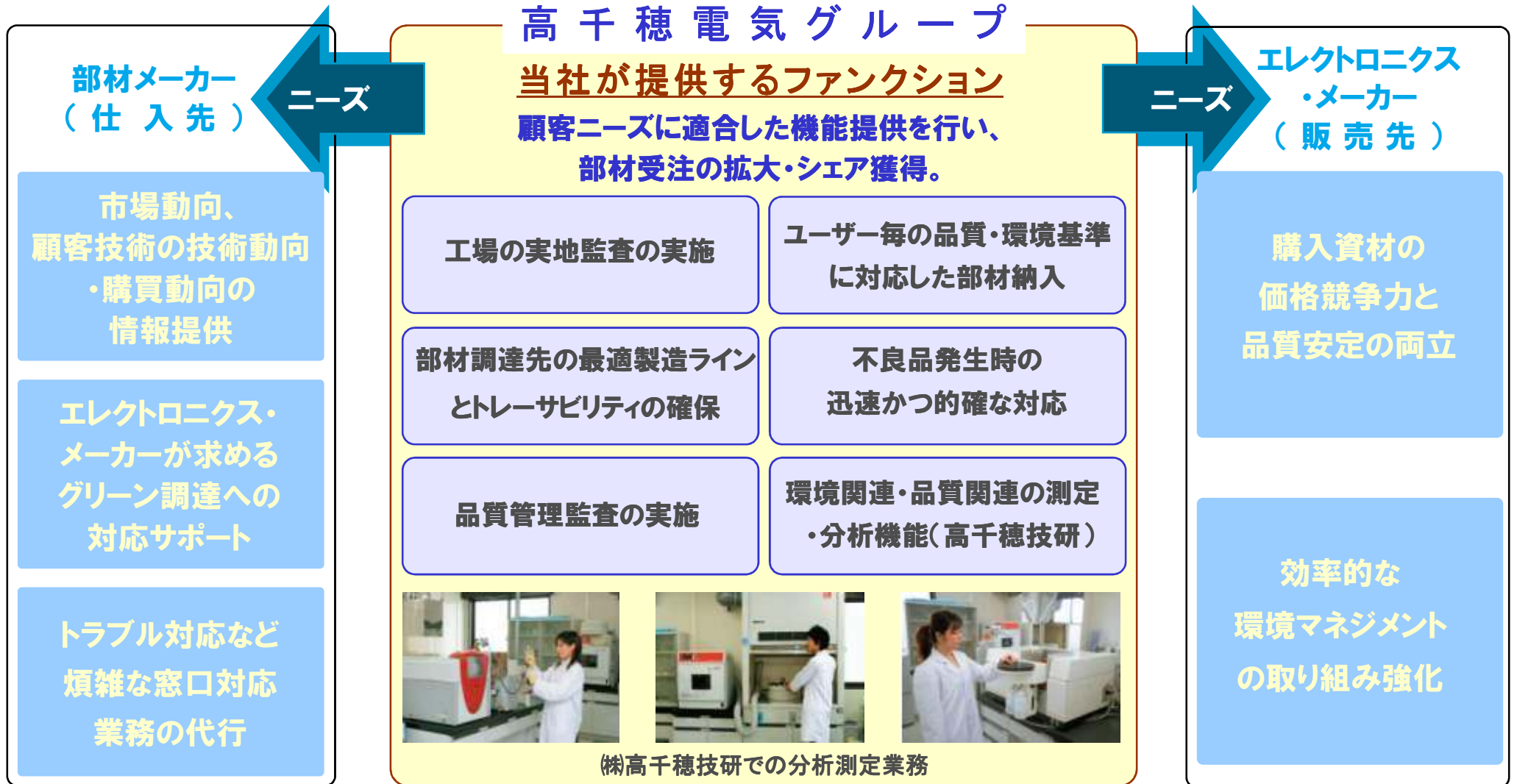
購買物流サービスの拡大

エレクトロニクス・メーカーの購買部門機能(購買業務・グループ内物流業務)を、当社が一括して受託する購買物流サービスを今後も拡大。高まる顧客ニーズに対して、さらに当社の付加価値提供先の増加を図る。



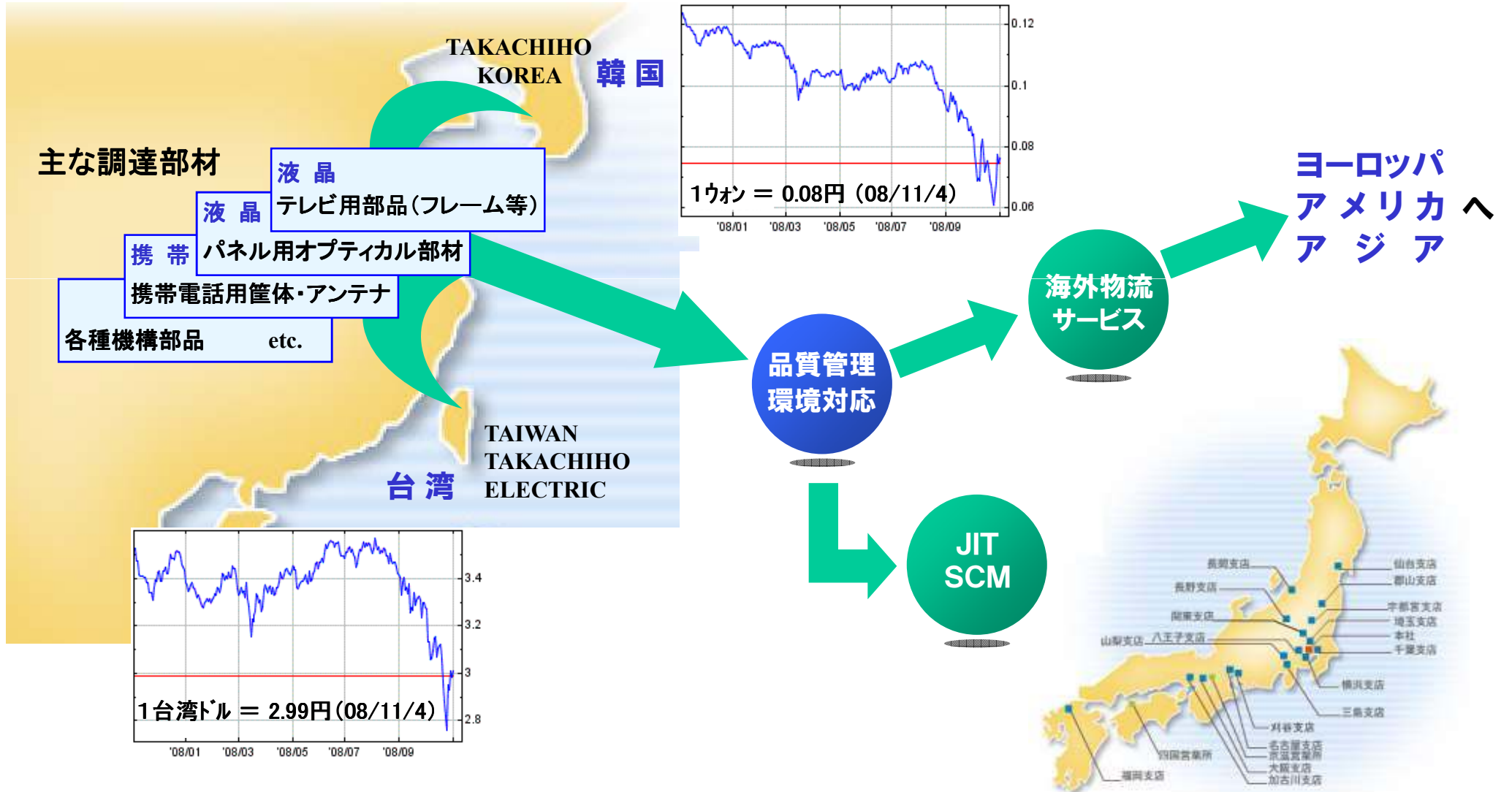
品質・環境マネジメント機能の提供

ユーザー・メーカーのニーズに対応し、「工場の実地監査」「品質管理監査」の実施を行うなど、従来以上に品質・環境マネジメントへの対応に注力。



韓国・台湾製の部材調達拡大

円高により、輸出は厳しい状況が続く一方、輸入価格については大幅に下落し、新たなビジネス機会が出現。こうした機会を捉え、韓国・台湾から高品質の部材を低コストで調達し、国内・ヨーロッパの顧客に対して提供。



薄型TV、自動車への取組み強化

取組み強化により、前年同期比で売上高は、ほぼ倍増

世界的に生産台数が減少する中、前年同期比で増加

薄型液晶 or 薄型プラズマ TV向け部材

09/3期 第2Q累計売上高 2,195百万円 前年同期比 + 93.4%



自動車向け部材

09/3期 第2Q累計売上高 3,173百万円 前年同期比 + 4.2%



LED 関連 部 材



LED バックライト

LED照明(景観用)

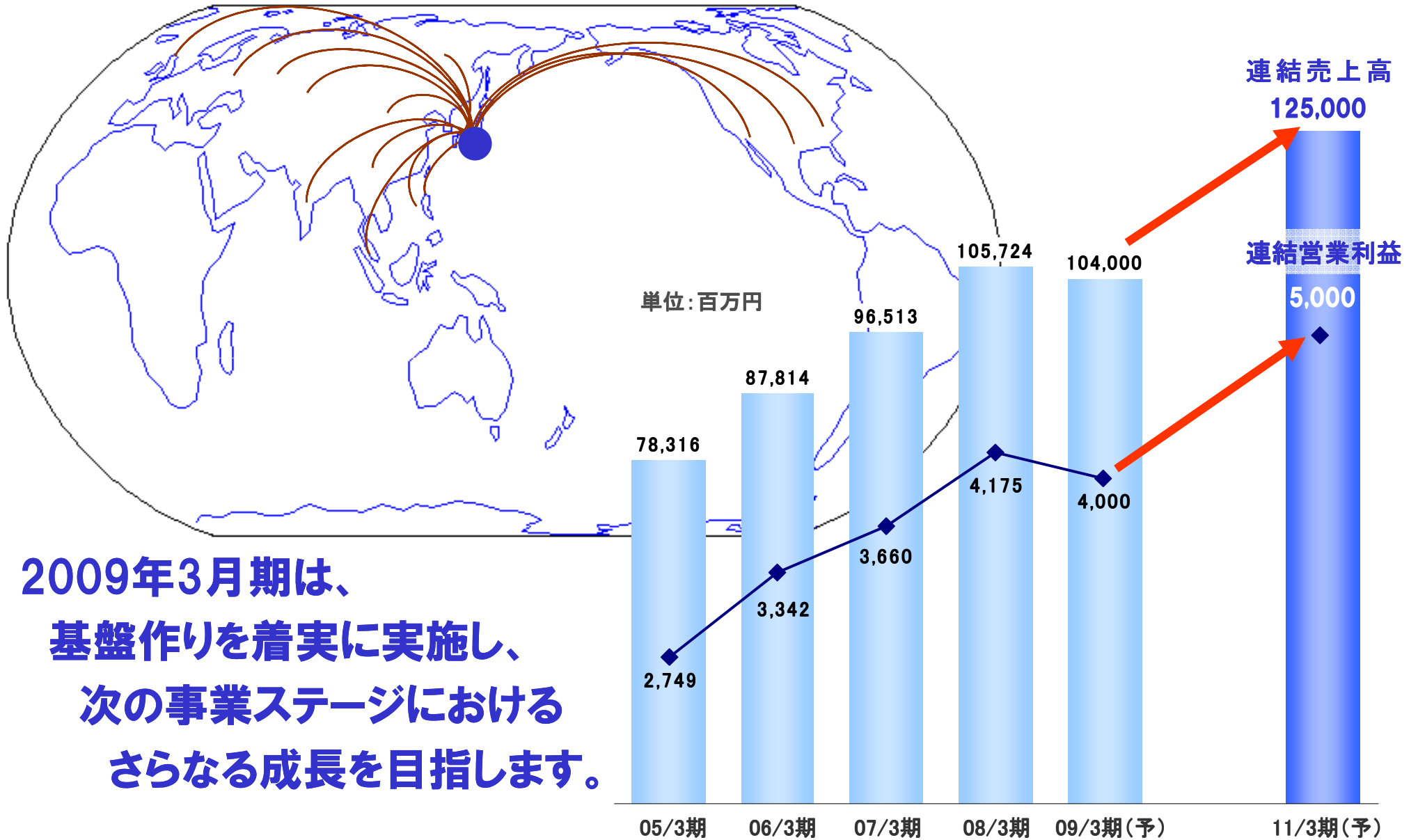
LED照明(店舗用)

LED照明(住宅用)

関連製品 (インパネ等)



中期利益計画





国内外で、顧客であるエレクトロニクス・メーカーに複合的なサービス提供を行っていくことにより、「ものづくりのより良きパートナー」を目指してまいります。



高千穂電気株式会社

MOVE! 



企業価値の向上に向けた各種施策を実施するとともに、株主の皆様に対して、業績に連動した利益還元を行い、上場企業としての責務を果たしてまいります。

【IR窓口】 磯上・東條・佐座

Tel: 03-3454-3526 Fax: 03-3454-3634

Email: ir@takachiho.co.jp

<http://www.takachiho.co.jp/>

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2008年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。